

なぜ今、日本人は戦前の体制へ向かうのか？ ——日本人の権利意識が導く危険性

戦後八十年。敗戦の記憶を語る人が少なくなっただけ、
若い世代のあいだで、かつての体制を肯定する声が再び聞かれ始めています。
なぜ、先人たちの痛みの記憶と警句は受け継がれなかったのか。
その背景を、日本人の心の深層にある「権利意識」と「国家観」から読み解きます。
国家と宗教、そして“自由”の名のもとに進む危うい方向性を、歴史から明らかにします。

●日時 **2026年2月21日（土）**
13:30～15:30

●場所 **相模中央キリスト教会（Zoom併用）**

●講師 **森島 豊さん**
青山学院大学教授・大学宗教主任。
博士（Ph.D.）



- ・ 日本基督教団 長崎平和記念教会牧師
- ・ 活水女子大学 非常勤講師
- ・ プリンストン神学校客員研究員（2023-2024）
- ・ 中外日報社『涙骨賞』最優秀賞受賞（2015）
青山学院学術賞（2021）。
- ・ 専門はキリスト教人権思想史と近代日本思想史
- ・ 著書多数
『人権思想とキリスト教』（2016）
『抵抗権と人権の思想史』（2020）
『日本の教育政策とキリスト教学校』（2025）等

（Zoom） | ID：824 7112 7760 パスコード：823343